

# Voice

伊藤病院だより  
SUMMER

2016年6月1日発行 第54号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



フォントーン通り

## 当院は被災地支援に積極的に参加しております

### ◆福島県甲状腺超音波検査 4

伊藤病院 内科 國井葉

2011年3月11日に東北地方太平洋沖地震と、それに引き続いた福島第一原子力発電所事故から早いもので5年が経過しました。原発事故に伴う影響は多岐に及びますが、当院は甲状腺専門病院ということもあり、福島県民健康調査の一つである甲状腺検査の結果について、今回は報告したいと思えます。

福島県民健康調査「甲状腺検査」は大きく、先行検査と本格調査に区分して行われています。放射性ヨウ素による被ばくで、甲状腺がんが増えるかどうかをみるためには、一般的に甲状腺がんはどの程度の頻度で起こるか、知っておく必要があります。先行検査は、放射性ヨウ素の影響のない甲状腺の状態を知る目的で行われました。事故があったからの2年間(実際の検査期間は約3年間でした)は、まだ甲状腺への放射性ヨウ素の影響は考え難いとされ、先行検査の期間としました。

その後本格調査として、放射性ヨウ素が甲状腺にどのような影響をもたらすのか、現在調査が進められています。

#### 先行検査の結果

震災時、福島県に居住の概ね18歳以下の県民を対象とし行われた甲状腺検査は、300,476人(約30万人)が受診(受診率81.5%)しました。この内、精査・細胞診を行い113人が甲状腺がんの「悪性ないし悪性疑い」と判定されました。甲状腺がんの確定診断は、手術を行い切除組織を確認する必要があります。確定診断に至ったのは、手術を受けた113人中99人で、内訳は：乳頭がん95人、低分化がん3人、良性結節1人でした。残りの14人は手術を受けていないため、確定診断には至っていません\*1。

検診で何も認めなかったのは、154,606人/300,476人(51.5%)でした。逆に言えば小さな嚢胞\*2を含めれば、50%弱に何らかしらの病変があるということになります。

では、この結果をどう捉えるべきなのでしょう？

調査委員会は、先行検査を終えて以下のようにまとめています。

「わが国の地域がん登録で把握されている甲状腺がんの罹患統計などから推定される有病数に比べて数十倍のオーダーで多い甲状腺がんが発見されている。しかし、超音波検査をしないかぎり将来的にも臨床診断されない、また死に結びついたりすることがないがんを多数診断している可能性が指摘されている。

これまでに発見された甲状腺がんについては、被ばく線量がチェルノブイリ事故と比べてはるかに少ないこと、被ばくからがん発見までの期間が概ね1年から4年と短いこと、事故当時5歳以下からの発見

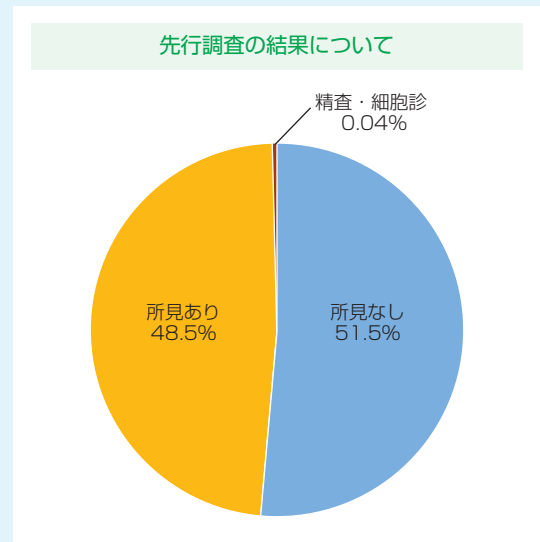
はないこと、地域別の発見率に大きな差がないことから、放射線の影響とは考えにくいと評価する。」

この検診がなければ、少なくとも当面は(多くはおそらく一生)気づかれることのなかった疾患を、今回の検査で見つけたことが甲状腺がんの高い発見率につながったものと考えます。今までに、人数が多い集団検診で甲状腺超音波検査を施行したデータはないため、以前の報告と比較することは、あまり意味が無いように思えます。

さて、これから数年以内に本格調査の結果が出てきます。どのような結果であれ、検診を受けた人の不利益にならないように、不安を煽らないように配慮をしていく必要があると思えます。

科学者としては、結果を正確に事実として受け止めるつもりですが、個人的には、放射性ヨウ素の被ばくで甲状腺がんが増えていないという結果を期待し、また数年後に本格調査の結果を報告したいと思えます。

- \*1 福島県民健康調査「甲状腺検査(先行検査)」結果概要【確定版】
- \*2 甲状腺の組織が変化して液状のものが貯留した、良性変化。



今後も甲状腺疾患専門病院として引き続き支援活動を行ってまいります。

## 医療の国際化に向けて

### ◆Asian Association of Endocrine Surgeons参加報告

伊藤病院 外科 正木千恵

2016年4月7～9日、韓国・ソウルにて、第15回アジア内分泌外科学会(Asian Association of Endocrine Surgeons: AsAES)が開催されました。AsAESは東アジアを中心に、東南アジア、オセアニアなどの地域の内分泌外科医が集い、主に内分泌疾患について議論される学会です。私は「lenvatinib induces early tumor shrinkage(レンパチニブは治療開始後早期に腫瘍縮小効果を発現する)」という研究を発表いたしました。レンパチニブは日本で創薬され、2015年5月

に日本が米国に次いで2番目に承認を得た進行甲状腺癌に対する分子標的薬です。現在AsAES参加地域では日本の他に韓国しか承認が取れておらず、まだ全世界には普及しておりません。これからエビデンスが蓄積されていく領域であり、今後日本がリードしていく立場にあることを改めて認識した貴重な学会でした。



### ◆アジア太平洋内分泌会議で発表しました

伊藤病院 外科 前田哲代

アジア太平洋内分泌会議(Annual Meeting of Asia-Pacific Endocrine Conference: APEC)は、アジア地域で内分泌疾患の研究・診療に携わっている研究者や医師が集まり、研究成果を発表するとともに、この地域の医療交流を図る場として1988年に立ち上げられました。当院が常設事務局であるとともに、2014年より伊藤院長が理事長を務めて来ました。

第27回となる今回は、ハワイ大学副学長のご協力を得てハワイで開催され、地元ハワイ大学・病院からの発表をはじめ、多数の演題発

表と特別講演が行われました。また、地元の医師だけでなく、医学生の方々も出席され、活発な質疑応答が行われました。

当院からは、杉野副院長、前田が発表を行ったほか、伊藤院長がWorkshopの座長を、長濱外科部長が甲状腺の演題発表の座長を、北川診療技術部部長が甲状腺手術と副甲状腺の演題発表の座長を務めました。

今回の第28回APECは、北川診療技術部部長が会長を務め、インドネシア共和国バリ州に属するバリ島で開催予定です。

#### 発表演題

杉野公則	FOLLICULAR THYROID CARCINOMA – PROGNOSTIC FACTORS AND THERAPEUTIC STRATEGY –
前田哲代	A case of primary hyperparathyroidism in a teenager.



座長を務めるShane Morita先生(クイーンズメディカルセンター)と伊藤公一院長



杉野公則副院長



前田哲代医師



## 学会活動

- 第32回 甲状腺病態生理研究会(東京・2/6)  
遠藤 慶 「前治療がヨウ化カリウムでアイソトープ治療時に放射性ヨウ素摂取率低値であるバセドウ病症例の検討」
- 第11回 昭和大学 糖尿病・内分泌セミナー(東京・2/17)  
北川 亘 「甲状腺悪性腫瘍の診断と治療～乳頭癌・濾胞癌を中心に～」
- 第4回 東京TCAT カンファレンス(東京・3/11)  
友田智哲 「出血の危険性がある患者に対するTKI使用について～甲状腺乳頭癌再発症例～」
- 日本A-PART学術講演会2016(東京・3/20)  
吉村 弘 特別講演「甲状腺機能異常と妊娠」
- 第116回 日本外科学会定期学術集会(大阪・4/14～16)  
正木千恵 「甲状腺癌におけるレンバチニブの治療効果発現時期について」

## 講演活動

- 「MR実践研修 (Medical Advice) エーザイ株式会社」(東京・2/17)  
渋谷 洋 「伊藤病院における 放射性ヨウ素(I-131)内用療法の実際 ～分子標的薬への切り替え時期～」
- Niigata Clinical Question of Lenvatinib(新潟・2/19)  
杉野公則 「伊藤病院における進行性再発甲状腺癌に対するレンビマ治療の取り組み」
- 診診連携の会(神奈川・2/24)  
向笠浩司 「甲状腺疾患について」
- LENVIMA Meet The Expert in 茨城(つくば・2/26)  
杉野公則 「伊藤病院における進行再発性甲状腺癌に対するレンビマ治療の取り組み」
- Thyroid Cancer Seminar(東京・3/9)  
鈴木章史 「伊藤病院におけるlenvatinibマネジメント」
- 甲状腺癌治療カンファレンス in 山梨(山梨・3/11)  
鈴木章史 「伊藤病院におけるlenvatinibマネジメント」
- 甲状腺がん病診連携セミナー(名古屋・3/18)  
杉野公則 「伊藤病院における進行性再発甲状腺癌に対するレンビマ治療の取り組み」

## ピックアップ 日本内分泌学会学術総会

4月21日から23日の3日間、京都市において第89回 日本内分泌学会学術総会が開催されました。

日本内分泌学会は、その名の通り内分泌・代謝の疾患に関わる研究者や専門医などによって組織される学会です。学術総会は、甲状腺・副甲状腺とともに、下垂体や副腎、膵臓などの内分泌臓器の病気

や、糖尿病などの生活習慣病を専門に診療・研究している国内の医療関係者が一堂に集まり、日々の研究成果を発表し、活発な議論を行う場となっております。

当院からも下記の医師が発表を行なったほか、吉村内科部長、大江医師がポスター発表の座長を務めました。

今後も、国内外の学会に積極的に参加し、研究成果の発信とともに、最新の知見に触れ、研鑽することで、患者様に常に新しく、安全で質の高い医療をご提供出来るよう取り組んで参ります。

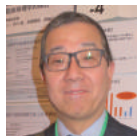
学会期間中には外来担当医師の変更や休診等により、患者様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、どうぞご理解くださいますよう、お願いいたします。

### 特別講演

渡邊奈津子	バセドウ病(GD) 131-I内用療法(RIT)後のバセドウ病眼症(GO)の悪化に関する無作為化前向き研究
吉原 愛	妊娠中の無機ヨウ素治療は有効かつ安全か？

### 発表演題

杉野公則	穿刺吸引細胞診が“鑑別困難”の診断であった甲状腺結節の臨床病理学的検討
北川 亘	頸動脈エコーを契機に甲状腺専門病院を受診した症例の現状
渡邊奈津子	一卵性双生児バセドウ病13組の臨床像
岩久建志	小児甲状腺エコーにおける迷入胸腺の特徴
大江秀美	100g以上の甲状腺腫を有するバセドウ病患者に対する外来アイソトープ単回治療成績
鈴木菜美	甲状腺機能異常と睡眠障害の関連についての検討
松本雅子	妊娠希望のバセドウ病患者で特に手術を勧めるべき症例の検討
吉原 愛	甲状腺萎縮、阻害型TSH受容体抗体(TSBAb)陽性であったが、出生した3人の児とも新生児バセドウ病であった甲状腺機能低下症母体の1例



杉野公則副院長



北川亘診療技術部長



渡邊奈津子内科医長



岩久建志内科医長



大江秀美医師



鈴木菜美医師



松本雅子医師



吉原愛医師

## 伊藤病院研究会を開催しました

2月20日に、第47回伊藤病院研究会を開催しました。

この会は、当院の医師が1年にわたってとりまとめた甲状腺疾患についての研究成果を発表する場であり、全国から甲状腺疾患の研究・診療に携わっている先生方をお招きして開催しています。今回は、下記の2つをテーマに発表しました。

会場には院外からも125名の先生方がお集まりになり、発表後には活発な質疑が行われました。

### 1. 「甲状腺機能低下症と流産」

- ・「橋本病と流産の関係」(小菅由果医師)
- ・「甲状腺ホルモン補充の流産に与える影響」(小林佐紀子医師)

甲状腺機能低下症は、不妊、流産、児の成長・発達など様々な段階で影響が発生することが現在分かっています。最近、甲状腺刺激ホルモン(TSH)が基準値内であっても $2.5 \mu\text{IU/ml}$ 以下にコントロールした方が、流産が減少するという海外の論文が注目されています。

今回、日本で初めて当院のデータでも同じような結果が得られたことを報告しました。

### 2. 「長期成績から考える甲状腺乳頭癌の初回治療

～各国のガイドラインと当院の治療方針～(松津賢一医師)

従来欧米諸国では甲状腺乳頭癌に対しては甲状腺を全て摘出す「全摘術」が行われてきました。当院では患者様の年齢、腫瘍サイズ、リンパ節転移、他臓器転移の有無などから症例ごとに導き出す悪性度に基づいて「全摘術」か「葉切除術」のいずれかを選択しており、適切な基準をクリアすれば、必ずしも「全摘術」をしなくとも極めて良好な予後が得られることを2014年に海外誌に発表しました。現在ではこの基準は最新の欧米諸国のガイドラインにも広く採用されるようになり、世界的に見ても手術時の悪性度判定に基づいて「全摘術」と「葉切除術」のいずれかを選択する方法が主流となりました。本研究会では、このような基準を導き出した当院のデータを紹介し、各国ガイドライン及び本邦のガイドラインと当院治療指針を比較検討する発表を行いました。



小菅由果医師



小林佐紀子医師



松津賢一医師

## しぶや甲状腺クリニックのご紹介

しぶや甲状腺クリニック 院長 渋谷洋

このたび私こと、3月末日をもって16年勤務させて頂いた伊藤病院を辞し、平成28年5月6日金曜日より、下記住所に甲状腺専門のクリニックを開業致しましたので、謹んでご報告申し上げます。甲状腺の外科医として、伊藤病院の外科医長として研鑽を積み、患者様とご家族からたくさんの事を学び、ご紹介を頂いた諸先生方のお力を借りて、歩んで参りました。



これまで伊藤病院で培った、「甲状腺を病む方々のため」の医療を継続して彼の地で実践致します。当クリニックは小さな施設です。それだけに、フットワークは軽く、少ない職員間での意志の疏通はとれております。患者様をお待たせしない、ゆっ



くりお話しをお聞きする事が小さな施設の使命と考えております。これを実現するために、優先予約制を取りました。電話あるいはクリニック受診時に予約をとって頂ければ、待ち時間の短縮に貢献できます。また、伊藤病院と同じように、「初診で診断をつけて、当日から治療が開始できる」よう、院内採血検査機器を導入し、甲状腺ホルモンは採血後1時間余りで結果をお返しできる設備を整えております。クリニック在院時間を極力短くできるように今後も努力を続けていきます。

もちろん、予約をなさらずに受診されましても、診療診察はさせて頂く事は言うまでもありません。甲状腺診療の裾野を担い、神田周辺を中心として、全国の甲状腺疾患を患う方々とともに、これからも歩んで行く所存です。

診療内容 甲状腺疾患(内科・外科)

所在地 東京都千代田区神田須田町2-13-12秋芳ビル4F

電話 03-5207-2484

URL <http://shibuya-thyroid.com>

電車でのアクセス:

JR「秋葉原駅」中央口改札あるいは昭和通り改札を出て徒歩4分  
東京メトロ日比谷線「秋葉原駅」5番出口から徒歩2分  
都営新宿線「岩本町駅」A6出口(エレベーター)から徒歩2分  
つくばエクスプレスTX「秋葉原駅」から徒歩7分

クリニック診療時間

	月	火	水	木	金	土	日/祝
9時～13時	○	○	○	/	○	○	/
15時～19時	○	○	○	/	○	○	/
備考	※第2,3,4,5週木曜日は伊藤病院午前限定外来(09:00～13:30)を行っています。						



## ISO15189:2012移行審査で認定を取得しました

伊藤病院 臨床検査室主任 植木輝

昨年10月29日～30日に日本適合性認定協会(JAB)による審査を受け、今年1月20日に移行及び更新の認定を取得致しました。

ISO15189は臨床検査室に特化した国際規格で、この認定を受けた検査室の報告する検査結果は、第三者機関の評価を受け国際的にも通用するものとなります。認定を受ける全ての項目の手順を文書化し、国際基準に則り検査を行うことが求められます。なお、日本では2016年4月現在、95施設が認定を取得しています。

当院は、2013年11月に初回認定を受けました。その時の規格は2007年版でしたが、その後、最新版となる2012年版が発行され、このたび移行審査を受審致しました。初回認定を取得してからの2年半の間も、手順書・環境・技術など常に改善を行って参りましたが、今回の移行・更新の審査を通して臨床検査業務をさらに一から見直す機会となりました。

今後も、安心で正確な検査結果を常に提供できる臨床検査室を目指し、品質管理と技術管理の更なる改善に努めてまいります。



## 順番待ちステッカーを貼付しました

伊藤病院 患者サービス向上委員会

薬局窓口で患者様にお薬のご説明をする際、お薬の情報が次に並んでいる患者様の目に入ってしまうことがあるとのこと意見をいただきました。改善のため、薬局窓口と保険証確認窓口の床に、前の方と少し距離を置いていただけるよう、ステッカーを貼付しました。

お手数ですが、次の順番の方はステッカーの位置でお待ちくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

院内のスペースが限られており、まだまだ不十分ではありますが、今後とも患者様のプライバシー尊重のために取り組んでまいります。



## さとう内科クリニック 開院のお知らせ

さとう内科クリニック 院長 佐藤尚太郎

横浜市青葉区藤が丘に「さとう内科クリニック」を開院しました佐藤尚太郎と申します。

平成9年から昭和大学藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科で糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病および甲状腺疾患などの内分泌疾患を中心に慢性から急性の内科診療に従事してまいりました。平成20年からは甲状腺専門病院である伊藤病院で常勤・非常勤医として甲状腺疾患診療を行っています。これまでの診療経験を活かし地域の方々の健康維持に貢献できればと考えております。

院内検査も充実しており、甲状腺超音波検査も行っております。血液検査は甲状腺・糖尿病・迅速項目については即日お伝えすることが出来ます。

甲状腺疾患や糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病、一般内科疾患などまずはご相談ください。当クリニックを何卒よろしくお願い申し上げます。



診療科目：甲状腺疾患、糖尿病、高血圧、脂質異常症、内科  
 所在地：〒227-0043 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-28-20ファミリーユ2階  
 電話番号：045-532-4238  
 URL：http://sato-naika-clinic.jp/  
 アクセス：東急田園都市線 藤が丘駅徒歩3分  
 診療時間：

診療時間表	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	×
14:30～18:00	○	○	○	○	○	○	×

休診日：日曜・祝日 予約枠あり ※受付終了は診療時間の30分前までとなります。



## 伊藤病院フォーラムを開催しました

3月12日に第9回伊藤病院フォーラムを開催しました。伊藤病院フォーラムは、職員同士の研究発表の場で、各部署が取り組んでいる業務改善について知ること、横断的な連携の構築にも役立つ場となっております。

今回は、医療相談室、病棟、薬剤室、ISO事務局、診療情報管理室、大須診療所の計6演題の発表がありました。

そして、発表演題の中から、院長が選定する賞を設けており、今回は診療情報管理室の「当院におけるカルテ開示の現状と課題」が選出されました。当院では、2000年に診療情報管理室を立ち上げ、2002年からカルテ開示を行っております。カルテ開示は、患者様およびご家族と医師が互いに理解を深め、信頼関係を構築していくことを目的としており、今回、円滑な開示を行うための取り組みについてまとめ、発表しました。



## 他施設の先生方が見学にいらっしゃいました

富家病院(埼玉県)の理事長 富家先生をはじめ、内田病院(群馬県)理事長 田中先生、国分中央病院(鹿児島県)理事長 藤崎先生、北条病院(愛媛県)理事長 高石先生など、8名の方が当院の見学にいらっしゃいました。

皆様、糖尿病治療やリハビリ、介護を通じて地域医療に取り組まれており、専門病院である当院とは異なる分野ではありますが、当院独自に改良を行っている電子カルテや各部門システムなど、院内の診療システム全般を熱心に見学され、多くのご質問もいただきました。また、見学後もメールでのお問い合わせをいただくなど、患者様のために診療体制の改善に大変積極的に取り組まれていることが感じられました。

当院も、ISO9001、ISO15189といった第三者評価とともに、他施設の取り組みを学び、改善活動を継続してまいります。



## 遠藤医師が研究奨励賞を受賞しました

2月6日に第32回 甲状腺病態生理研究会が東京で開催されました。この研究会は主に関東・東北地区の甲状腺専門医が集まり、日々の研究成果を報告する場であるとともに、若い研究者の育成も目的として開催されています。

当院から、遠藤慶医師が「前治療がヨウ化カリウムでアイソトープ治療時に放射性ヨウ素摂取率低値であるパセドウ病症例の検討」をテーマに発表を行い、研究奨励賞を受賞いたしました。



「吉村内科部長よりテーマを頂き、多くの先生・関係者の応援の下、無事に発表を行うことができました。その上奨励賞を頂き、ますます今後の研究・臨床に励まなければならないと身が引き締まる思いです。(遠藤)」

## 渋谷表参道Women's Run2016

3月6日(日)に渋谷表参道Women's Run2016が開催されました。この大会は、名前の通り女性限定で、代々木公園をスタートし、渋谷、表参道周辺10kmをコースとする大会です。普段はランニングが禁止されている明治神宮内や、交通規制された表参道を走ることが出来るため、とても人気がある大会で、当院もケガ・急病の方の受け入れ施設として大会に協力しております。

当院からも、10名が参加し、ちょうど5kmの折り返し地点となる当院前では、応援団がランナー達に声援を送りました。

当日は雨の予報に反して、暖かいくらいの陽気にも恵まれ、当院参加者は無事完走、充実感と達成感を楽しみました。



# 表参道寄り道スポット

## BURN SIDE ST CAFE

**西** 日本で人気のパンケーキカフェ「elk」の姉妹店「BURN SIDE ST CAFE」(バーンサイドストリートカフェ)が2015年4月に原宿にオープンしました。今回は大人気のこちらのお店をご紹介します。

表参道駅A2出口から徒歩6分。店内は、レンガ造りとコンクリート調の壁で、落ち着いた雰囲気空間となっています。

パンケーキの一番人気は『ホワイトスフレパンケーキ』。リコッタチーズを混ぜたメレンゲたっぷりの生地はほんのり甘く、はちみつかメープルのソースが選べます。注文してから焼き上げるふわふわの分厚いパンケーキに生クリーム・メープルナッツバターが添えられており、いろいろな味を楽しむことができます。

トッピングもチョコレート・キャラメルからブルーベリージャム・アイス・フルーツなど充実していて魅力的です。

お店こだわりのハンドドリップコーヒーも人気です。世界から厳選されたコーヒー豆を自家焙煎しているスペシャルティコーヒー専門店から仕入をされているそう。「フルーティー」と「ビター」の2種類のフレーバーをご用意されています。パンケーキとドリンクのセットにプラス350円でこちらのコーヒーを味わうことができ、とてもお得です。

他にも、話題のエッグベネディクトやエッグスラット、美肌・美髪・アンチエイジング・血行促進・眼精疲労に効果が期待できるコールドプレスジュースなど、話題のフード・ドリンクを楽しむことができる大人気の「BURN SIDE ST CAFE」へぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



ティラミスパンケーキ  
1,490円

店名 BURN SIDE ST CAFE  
住所 渋谷区神宮前4-29-9  
TEL 03-3403-0660  
営業時間 平日9:30~21:00  
土日祝8:30~21:00  
(L.O.フード20:00)  
ドリンク20:30)  
定休日 なし  
アクセス 伊藤病院から徒歩6分



### お店の方から一言

ティラミスのパンケーキは当店こだわりのエスプレッソコーヒーとチョコレートソースからなる特製ソースに浸し甘みと苦みのバランスが取れた大人なお味となっております。カスタードや生クリームを配合します。カスタードや生クリームを配合したパマスカルボーネクリームとトッピングのバニラアイスとご一緒にお召し上がり頂けます。ばさらに濃厚な一品となっております。

# 表参道ランチ&グルメ情報

## 日本料理 しろう

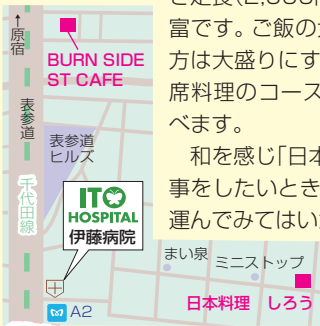
**🍴** 伊藤病院から徒歩6分、外苑西通りに抜ける道沿いにある日本料理「しろう」です。

古民家風の2階建て一軒家の店内は、木のぬくもりにあふれていてどこか懐かしく感じる落ち着いた雰囲気、熟練職人によるカウンター上の欄間や四季感のある庭園があり、和を感じながらゆっくりとお食事することが出来ます。

年中通して新鮮な天然魚を味わうことができ、なかでもおすすめは高級魚「のどぐろ」で、刺身や備長炭焼きは極上の味わいです。また、とろけるようなA5ランク黒毛和牛を組み込んだコースも好評です。

ランチ定食は1,300円~2,000円で、お味噌汁・自家製漬け物・季節の小鉢付き。名物であるさば味噌煮定食(1,500円)は濃厚な味噌ダレで、ふっくらと炊き上げられた甘みのあるご飯と相性よく、食が進みます。その他にも岩手県産いわい鶏を使用した親子丼定食(1,300円)や、一枚一枚丁寧に西京みそに漬け込んだ、銀だら西京焼き定食(2,000円)など、食欲をそそるメニューが豊富です。ご飯の大盛りが無料ですので、ご飯好きの方は大盛りにすることをおすすめします。ランチ会席料理のコースもあり3,500円と5,000円から選べます。

和を感じ「日本人で良かった」と思えるようなお食事をしたときには、日本料理「しろう」に1度足を運んでみてはいかがでしょうか。



### お店の方から一言

表参道にある古材やアンティークな大人の雰囲気、和モダンな大人の雰囲気、和食一筋20年の料理長が腕を振るう日本料理店。力のある食材を使用し、互いを引き立たせる素材同士を組み合わせながらも持ち味をストレートに引き出した本格和食をご提供しております。

### おすすめメニュー



さば味噌煮御膳 1,500円 天ぷら御膳 1,800円

店名 日本料理 しろう  
住所 渋谷区神宮前3-5-1  
TEL 03-5414-2311  
営業時間 お昼11時30分~15時(14時30分L.O.)  
夜18時~23時(22時L.O.)  
定休日 日曜日



このコーナーでは、伊藤病院周辺にある通称で親しまれている通り・ストリートについて、広報誌委員が散歩して見つけたものや、諸説ある由来をご紹介します。

## 原宿駅～モーツアルト通り

今回のさんぽ道は「原宿駅竹下口～明治通りへの抜け道」についてご紹介したいと思います。原宿駅竹下口から明治通りに抜けるまでには、①竹下通り、②ブラムスの小径、③フォンテーヌ通り、④モーツアルト通りの順で4つの道を通ります。閑静なヨーロッパの雰囲気をかもしだし、人通りも少ないので、さんぽ道にぴったりだと思います。

このさんぽ道の行き方ですが、竹下通りのダイソーの向かい側に伸びる道を進むと、CHRISTIEという老舗喫茶店が目に入ります。CHRISTIEの左を曲がった先に「ブラムスの小径」があり、そのまま階段を下り、道路を渡り、また小径に入るとそこが「フォンテーヌ通り」になります。道なりに進み原宿医院付近の通りが「モーツアルト通り」です。そしてクレープ屋を抜け明治通りに出ることが出来ます。

この抜け道は昔、小川でした。明治神宮御苑の中には都会では珍しい湧き水の井戸があり、清正井(きよまさのいど)と呼ばれています。この湧き水が水源となり、この抜け道の流れ渋谷川(稲田川)へ合流していました。そして1960年頃に暗渠化され、現在の歩道になりました。

原宿駅に足を運ぶ機会がございましたら是非、この道をさんぽしてみたいはいかがでしょうか。

### ◆名前の由来

#### 竹下通り

竹下町の地名からといわれています。昭和40年の住居表示変更以前は明治神宮前1丁目～4丁目あたりが原宿町、5～8丁目あたりが稲田町。2つの町に挟まれた細長い地域、ちょうど今の竹下通り沿道の町名がすべて神宮前となり、通り名、商店街名として残りました。

## 原宿駅～モーツアルト通り MAP



### ブームスの小径

名付け親はフランス作家フランソワーズ・サガン氏。サガン氏は今から約40年以上前にこの道に建っていた洋館の初代経営者と親交が深く、自身の著書「ブームスはお好き」にちなんで命名したといわれています。

### フォンテーヌ通り

明治通りに向かう途中に右手に商業ビルの中庭に、噴水が設けられています。フォンテーヌはフランス語で噴水の意味があり、それがこの通りの名前の由来とされています。フォンテーヌ通り周辺には美容室が集中しており、一瞬、ヨーロッパにきたのかと勘違いしてしまうほど、静かで優雅な裏通りです。



### モーツァルト通り

明治通り寄りの一角にモーツァルトの音楽だけを流すカフェ「カーサ・モーツァルト」がオープンしたのが由来とされています。残念ながらカフェはなくなってしまいましたが、現在は音楽サロン「カーサ・モーツァルト」として残っています。

この音楽サロンは、元々現在の経営者である中村孝氏の父で「カーサ・モーツァルト」の名付け親である中村眞氏のプライベートスペースで、1983年にモーツァルト愛好家の集まる場所として、カーサ・モーツァルト(モーツァルトの家)を作ったそうです。

大のモーツァルトファンだった眞氏は、1976年からモーツァルトゆかりの地を訪ね歩き、少しずつ書籍や資料を蒐集されました。この遺品は、現在も音楽サロンに保管、展示されています。



## 甲状腺悪性リンパ腫

伊藤病院 内科医長 渡邊奈津子



甲状腺悪性リンパ腫は、甲状腺の中でリンパ球が増え、かたまり(リンパ腫)となる病気です。通常、甲状腺にはリンパ球が存在していませんが、甲状腺に慢性の炎症である橋本病があると、甲状腺の中にリンパ球が入ってきて、そのリンパ球が慢性的に刺激を受けて増殖し、リンパ腫として腫瘤がおおきくなると考えられています。

### 治療の進歩

甲状腺にできる悪性リンパ腫の種類は、ほとんどは、悪性度の低いマルトリリンパ腫や、中等度の悪性度のびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫(DLBCL)に大別されます。この病気の種類(=病理分類)と、病気の拡がりの程度(=病期分類)によって治療方法を決めて行きます。以前より放射線治療や抗癌剤治療としてCHOP療法といった治療が、確立された治療方法として行われてきました。現在、放射線治療は治療装置の技術が進歩し、治療の目的とする部位や病気の勢いが強い部分に、よりしっかり放射線をあてられるようになってきました。よりきめ細やかな方法となり有害事象の軽減、治療効果の増強が期待されています。また、抗癌剤治療については、これまで行われてきたCHOP療法に、リツキシマブという分子標的薬が加わり、当院での患者様の治療成績でも、より治療効果が改善しています。



当院の放射線治療室

また、悪性リンパ腫は高齢の方に発症しやすいため、より治療にともなう副作用に注意しながら、十分治療効果を発揮できるよう心がけています。



## 甲状腺機能性結節(プランマー病)

伊藤病院 内科 鈴木菜美



甲状腺のホルモン産生が過剰になる病気として、一般にはバセドウ病が最もよく知られていますが、その他の病気のひとつが甲状腺機能性結節です。これは甲状腺の結節(1つもしくは2つ以上)が甲状腺ホルモンを自律的に産生してしまうものです。この病態を初めて報告した医師の名前からプランマー病とも呼ばれ、また結節の数によって1つではAFTN(Autonomic functioning thyroid nodule)、2つ以上の結節で甲状腺ホルモンが産生されている場合には中毒性多結節性甲状腺腫(TMNG (Toxic multinodular goiter))と呼び分けることもあります。

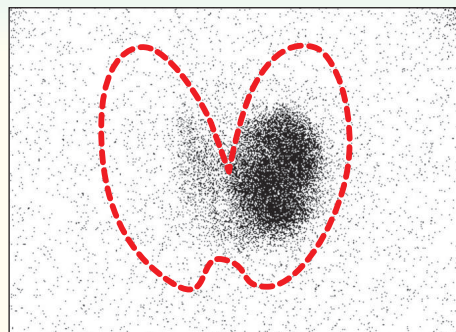
甲状腺ホルモン上昇の程度は様々ですが、軽いものがほとんどで、またバセドウ病に見られるような眼の症状を呈することはありません。

### 診断：

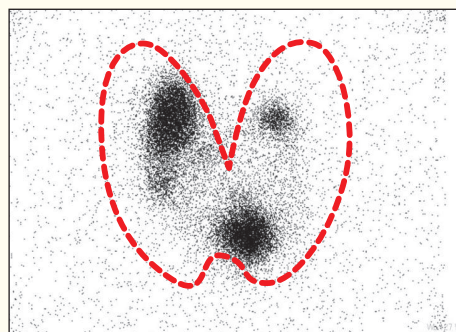
機能性結節の診断にはシンチグラフィ検査が最も有用であり、ホルモンを産生している結節のみへ取り込みを認めます(図A、B)。バセドウ病では甲状腺全体に取り込みを認めるので、一目瞭然です(図C)。

### 治療：

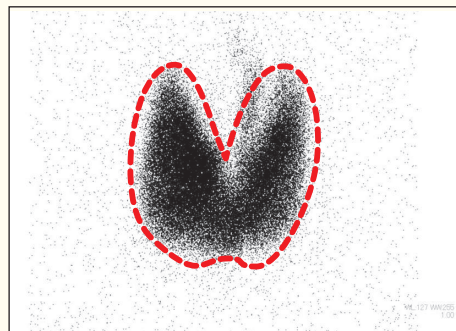
第一選択は手術による摘出術ですが、その他に<sup>131</sup>I内用療法(アイソトープ治療)、メルカゾールなどの薬物療法が一般的です。ただし、薬物療法では根治には至らないため、やはり手術もしくはアイソトープ治療が好ましいでしょう。最近では、限られた施設にはなりますが、小さな結節ではエタノール注入療法(PEIT)が導入されており、よい成果を上げています。



図A:AFTN



図B:TMNG



図C:バセドウ病





甲状腺疾患専門病院である当院に受診される患者様は、その特徴からも女性が多数を占めております。そこで、今回は女性に特徴的な疾患でもある乳癌のお話をしたいと思います。

乳癌という病気は現在、女性における悪性疾患の中で罹患率第1位であり、多くの患者様が治療を受けておられます。アメリカの女優さんでも有名になりましたが、予防的に乳房、卵巣を切除する方もおられます。

では乳癌にかからないようにするにはどうすればいいでしょうか。

残念ながら確立された予防法はありません。喫煙歴、アルコール摂取、閉経後の肥満、未経産婦など、乳癌リスクを増加させることは確実視されており、また閉経後の方の適度な運動などはリスクを下げるといわれておりますが、やはり予防は不可能と考えられます。

予防が不可能であれば、死亡率を下げるためにはどうすればいいでしょう。

それにはやはり早期発見が第一と考えられます。早期発見にはそう、乳癌検診です。

残念ながら、日本での乳癌検診受診率は欧米諸国と比較してかなり低いのです。欧米諸国では70%以上の女性が検診を受けているのに対し、日本では30%程度です。

乳癌の初期症状は**無症状**です。痛み、かゆみなどはありません。癌が次第に大きくなってくると皮膚の引きつれ、乳頭分泌、しこりに触れるなどの症状がようやく出てきます。無症状のうちに見つけるには、定期的な乳癌検診がやはり必要です。

皆さんの中には「そうは言ってもマンモグラフィーとかって痛いでしょ」って思ってる方もいると思います。乳腺組織が多い方、固めの方はそういう傾向が高いといわれております。そういった方は、なるべく生理終了後1週間程度で受けていただくと、乳腺自体の張りがとれているため、痛みは軽減されると思われれます。ちなみに、乳癌検診を超音波検査だけで済ませるのも、現時点ではお勧めいたしません。もちろん視触診のみで行うこともお勧めできません。

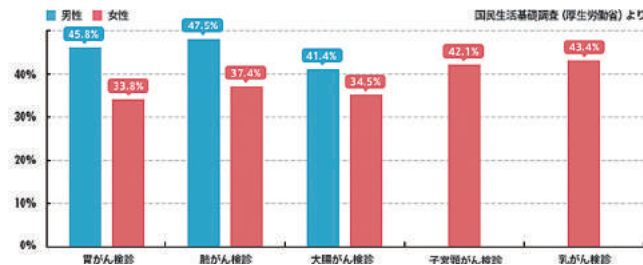
ガイドライン上では、40歳以上の女性にはマンモグラフィーによる検診が勧められております。自治体によって、クーポン券や無料券など配布している場所があるかと思えます。皆さんも是非

ご利用いただいて、病気の早期発見に努めていただきたいと思います。

また、ご自身でも鏡の前で見て診察、触って診察を心がけていただき、何かありましたら専門病院に受診するとよろしいかと思えます。

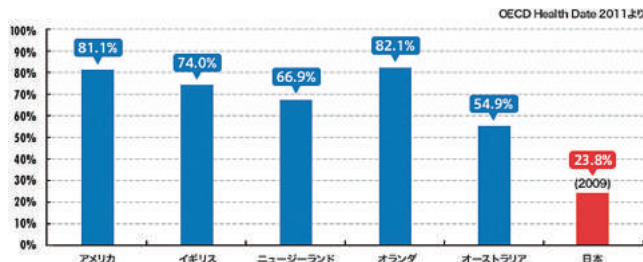
最後に、よく、病気が判明するのが怖いという方の意見をお聞きます。私見ですが、病気が判明するのは怖いけれど、それを放置して取り返しがつかなくなるほうが怖いと思います。繰り返しますが、きちんとした診断・治療を受ければ恐れる病気ではありません。早期発見できれば長期生存が可能な病気ですので、皆さん怖がらずに検診を受けましょうね。

## がん検診の受診率



## がん検診の国際比較

● 50-69歳 女性のマンモグラフィー検診受診割合 (2006年)



「がん検診受診率50%達成にむけた集中キャンペーン」より  
[https://www.gankenshin50.go.jp/campaign\\_26/outline/low.html](https://www.gankenshin50.go.jp/campaign_26/outline/low.html)

## 鈴木美穂医師がZIP-FMスペシャルセミナーで講演しました

鈴木美穂医師が3月19日に名古屋市で開催されたZIP-FM present SPECIAL SEMINARにおいて、「甲状腺の病気を知る」をテーマに講演しました。ZIP-FMは、愛知県を中心に中部地方・東海3県などで放送しているFMラジオ局です。



当日は、40名の募集枠を上回る48名の方がお集まりになりました。初めて甲状腺疾患のお話を聞く方、ご自身が甲状腺に不安のある方、家族の甲状腺疾患を心配する方など様々な方に、鈴木医師がバセドウ病・橋本病を中心に、甲状腺の働きから、検査・治療方法まで、わかりやすくご紹介しました。

皆様大変熱心に伺われ、講演後の質疑でも、食事や日常生活から手術まで、多岐にわたるご質問をいただき、時間の許す限り、鈴木医師がお答えしました。

今後も、より多くの方々に甲状腺疾患について知って頂き、またその知識を深めて頂けるよう、取り組んでまいります。

## 椿院長がリフレッシュプライマリーケア塾で講演しました

大須診療所 事務長 高田博史

2月24日に春日井市で開催されたリフレッシュプライマリーケア塾にて、椿院長が講演しました。

この会は、春日井市内の女性医師やコメディカルの方を対象として開催されており、今回は当診療所に多くの患者様をご紹介いただいている、やまざわクリニックの山際先生のお引きで講演いたしました。



講演は「一般診療科における甲状腺疾患を見逃さないポイント」をテーマに、甲状腺疾患を早期発見し、治療するためのポイント、疑われる甲状腺疾患についてどのような検査を行うべきか、検査結果の見方などを具体的にお示ししながら、治療までの流れを専門医の立場からご紹介しました。

参加された40名ほどの方々から、多くのご質問もいただき、大変好評を得て終了することができました。今後も、機会を得て積極的に情報提供してまいります。

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。  
ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

## 大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://osu-shinyoujyo.jp/

## 病院からの おしらせ

## 明治神宮参拝

当院では、毎年明治神宮に患者様と職員の安全・健康を祈願することが大切な病院行事の一つになっております。今年も、4月5日に職員全員で祈願してまいりました。

当院の位置する表参道は明治神宮の参道として整備され、神宮造営にあわせて1919年(大正8年)に完成しました。いまは大きく育っている榎も、一度震災によってほとんどが焼けてしまい、戦後に植えなおされたものです。

今後も患者様の安全を第一に診療を行ってまいります。



## 2016年11月の外来診療休診について

毎年、春と秋には甲状腺疾患に関連する学術集会が開催されております。これらの学術集会で知識の吸収や当院での研究成果を発表することは、専門病院としての責務と考え、多数の医師および職員が参加し、その成果を日々の診療に役立てております。

特に、2016年11月に開催される日本甲状腺学会学術集会には、多数の医師が不在となりますので、誠に申し訳ございませんが、期間中は外来診療を休診とさせていただきますことといたしました。

また、休診前後の診療日は外来が通常より混雑することもございますので、早めの日程でのご来院をご検討くださいましたら幸いです。

患者様にはご不便をお掛けいたしますが、何卒ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

休診日 2016年11月4日(金)～5日(土)

※11月3日(木)は「文化の日」のため休診です。

2016年6月 伊藤病院

このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやましたクリニックの情報を紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック 理事長・院長 山下弘幸

やましたクリニックの山下です。

この原稿を書いているのは4月18日月曜です。14日木曜日に熊本県益城町で地震が発生し、福岡市でも大揺れしました。翌日、余震はつづくものの落ち着きを取り戻しつつあったのですが、翌々朝の大地震(最終的にはこれが本震で、14日の地震は前震と判定)で被害が広がっていきました。今回は大災害について、甲状腺診療の思い出を交えて書かせていただきます。

災害時の医療活動に関しては、発生時期からの経過により優先順位が違ってきます。私は平成7年の阪神・淡路大震災のときに九州大学病院医療団として派遣された経験がありますが、少し落ちついた時期だったので高血圧などの慢性病(大半の甲状腺疾患もこの範疇)の治療や精神的なサポートを行ってきました。災害発生早期は命にかかわる怪我や病気が優先されますが、水やライフラインが寸断されることが多いので、特に透析患者さんの治療が困難になります(大量の水と電気が必要)。地域の病院も被害を受けるので震災前の医療を提供することは困難で遠隔地域の医療機関に依頼せざるを得ませんが、交通の遮断や受け入れ先の許容範囲の問題があります。首都圏直下型地震や南海トラフ地震も近い将来にある程度の確率で発生することが予想されています。自然現象には逆らえませんので、発生した際に少しでも被害を少なくすること(減災対策)を考えるのが現実的です。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震後に、診療で非常に困った経験をしました。甲状腺疾患でもっとも多く処方されている薬はチラージンスという甲状腺ホルモン剤です。その薬は福島県のいわき市で製造されていたのですが、地震・津波に付随して発生した福島原発事

故の影響で工場が稼働できなくなりました。いわき市以外のところでは製造されていなかったため、備蓄分はすぐ消費され緊急輸入処置がとられたものの(これも国からの認可に時間を要しました)、数ヶ月間は十分に薬を供給できずに患者さんに大変なご迷惑をかけました。90日分の処方箋で14日-30日分だけを手渡し、残りは薬が納入された時点で宅急便を利用して送るといった綱渡りでした。甲状腺ホルモン剤がいわき市だけでしか製造されていなかったとはつゆ知らず、一大事にあわてふためいたというのが事実でした。その後、クリニックでは甲状腺ホルモン剤を備蓄するようにしましたが、薬品会社も数箇所に分けて製造することになっているので、備蓄にどのくらいの意味があるのかわかりません。災害時のサバイバル本が巷にあふれていますが、上記の経験のように予想できないことを事前に対応することは困難なので、せめて身を守るために必要な防災の準備が必要と考えます。とりとめない内容になりましたが、これを読まれている多くの皆様が熊本震災による被災地区へのご支援をいただければ幸いです。被災された方々へお見舞い申し上げますとともに早急の復旧・復興をお祈りいたします。



医療法人 福甲会  
やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック  
〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-8  
<http://www.kojosen.com/index.html>  
TEL: 092-281-1300 FAX: 092-281-1301

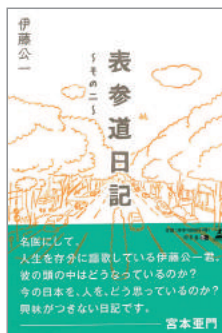
## 病院からの おしらせ

### 「表参道日記～その二～」発行のお知らせ

伊藤公一院長が月刊誌「美楽」で連載しております「表参道日記」が、この度「表参道日記～その二～」として、幻冬舎から編集・発行されました。

2009年の連載スタートから、2012年秋までの連載をまとめた前書「表参道日記～その一～」に続き、今回発行の「表参道日記～その二～」は、2012年9月から2016年1月までの連載がまとめられています。

美楽のテーマである「日本を元気にしたい」という想いを、折々の時事ニュースや世相への所感を交えて月々執筆したものですので、どうぞご覧ください。



### 表参道日記～その二～

発行 幻冬舎メディアコンサルティング  
定価 1,000円+税  
全国の書店のほか、当院売店でも販売しております。



## 表紙no写真

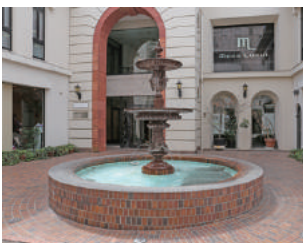
### フォンテーヌ通り(噴水広場)

初夏の爽やかな季節になりました。これからは気温の上昇に伴い避暑地に足を運びたくなりますね。

今号の表紙は「伊藤病院周辺さんぽ」のコーナーでご紹介したフォンテーヌ通りに位置する噴水広場です。

竹下通りの人混みから一転、落ち着いたあるフォンテーヌ通りとその噴水広場では、噴水を眺めるだけで涼しげな気持ちになります。

都会の真ん中でホッと息をつきたいとき、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。  
(エルンスト)



### 編集後記

ご覧いただきまして、ありがとうございます。Voice夏号はいかがでしたか。あじさいの花が美しい季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。6月というにあじさいや梅雨の印象がありますが、暦ではもう夏ですね。これから暑くなりますが、体調を崩されませんようご自愛下さい。では、次号もお楽しみに！！  
(森口)

### 甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご利用ください。



新刊

#### 「患者のための最新医学 バセドウ病・橋本病・ その他の甲状腺の病気」

監修：伊藤公一  
定価：1,300円(税込)  
発行：高橋書店



#### 「名医の図解 よくわかる甲状腺 の病気」

著者：伊藤公一  
定価：1,400円(税込)  
発行：主婦と生活社



#### 「スーパー図解 甲状腺の病気」

監修：伊藤公一  
定価：1,400円(税込)  
発行：法研



#### 「甲状腺の 病気の治し方」

監修：伊藤公一  
定価：1,300円(税込)  
発行：講談社



#### 「甲状腺の病気の 最新治療」

監修：伊藤公一  
定価：1,510円(税込)  
発行：主婦の友社



#### 「図解 甲状腺の病気が よくわかる 最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博  
定価：1,510円(税込)  
発行：日東書院

発行 2016年6月1日発行 第54号 伊藤病院広報誌委員会

**ITO**  
**HOSPITAL**  
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6

TEL : 03-3402-7411

FAX : 03-3402-7415

URL : <http://ito-hospital.jp>